



とよしん 海外貿易投資ニュース

エコミック レポート
とよしん ER

第43号
発行日：2014.12.15

パリの老舗百貨店で大規模日本展－神戸牛やこけしが売れ行き好調－（フランス）

世界最古の百貨店といわれるパリの「ル・ボン・マルシェ」で、日本の衣食住やアートをテーマとする企画展(8月30日～10月18日)が開かれ、多くの入場者でにぎわった。売り場には日本の100を超えるブランドや店舗の商品が並び、日本産神戸牛やこけしをはじめ売れ行きは好調、国別展最大の売上高を記録した。

＜国別展で初めて2フロアを使用＞

ル・ボン・マルシェ・リヴ・ゴーシュは、パリ・セーヌ川南側の「左岸(リヴ・ゴーシュ)」にある百貨店。「左岸」は、「シック」「インテリ」「クラシック」「上品」といったイメージがあり、顧客は、高価であっても質の良さを理解して商品を購入する、高級志向の地元富裕層であるといわれている。

日本に文化交流のための「日仏会館」が設置されて90周年という記念の年に開催された企画展「ル・ジャポン・リヴ・ゴーシュ」(以下、「日本展」)には、「ル・ボン・マルシェの国別展としては初めて」という表現が多く見られ、本館の2フロア分が使用されたのも初めてで、売り場面積(約2,000平方メートル)と売上高は過去最大を記録したという。

日本展の開催は、ル・ボン・マルシェのパリス・ワグナー会長兼社長が東日本大震災翌年の2012年春に訪日し、創造性が豊かで、独自性にあふれた多くの商品、新しい日本の魅力に引き付けられたことがきっかけ。その際、ワグナー氏は瀬戸内海にある直島(香川県)を訪れ、過疎化が進んでいたこの島の住民の笑顔が、現代アートの活動によって戻ったことを知り感銘を受けたという。その立役者である「ベネッセアートサイト直島」(注)と建築家の安藤忠雄氏を、日本展のカルチャー部門のメインゲストに迎えた。

同展には、企画展の趣旨に賛同した全日本空輸(ANA)、パレスホテル東京、沖縄県などが協賛しており、出展された食品の流通はパリの高級日本食料品店イセ(Isse)が担当した。

その日本展を運営した、レッドドット・アンド・ブルーストライプスの中村洋子代表に、日本館のコンセプトや現地消費者の反応などについて聞いた(10月18日)。



アパレルや雑貨をはじめ幅広い商品が並んだ「日本展」(ル・ボン・マルシェ提供)

＜日本人フレンチシェフが日本食品のアレンジ法やメニューを提案＞

日本展のコンセプトは、日本人が見ても違和感のない「今の日本」を伝える優れた商品やサービス、すなわち「メイド・イン・ジャパンの進化系」を商業ベースでフランス人消費者へ紹介し、自然なかたちで日常生活の中に取り入れてもらうことだ。しかし、フランスでなじみの薄い日本食材は、使用例や使用方法を消費者が十分に理解しなければ、購入には至りにくい。そこで、日仏の食の融合に詳しいパリのメディア兼プロデューサー「食会(Shoku-e)」と協力し、その紹介によってパリで活躍するフレンチシェフの関根拓氏を食品館のゲストに招いた。

食品館の中にあるアトリエでは、関根シェフによる予約制の料理の実演(例:「沖縄風ポトフ」「ココット(鍋)でコメを炊く」)をはじめ、日本食をテーマにした体験教室を開いた。自宅でも試してみたいとなった参加者や見学者は、必要な日本食材を売り場で購入したという。また、館内で販売中の日本の食品をフランスの食材とどう合わせるかを説明するミニレシピを同シェフが作成し、店内で配布した。昆布黒酢はキャラメルを香かしてバニラアイスと一緒に、熟成みそは黒オリーブとも相性がいいといった内容だった。

さらに、フランス人にも受け入れやすい期間限定メニューや商品を販売することにした。食品館にあるレストラン「ラ・テーブル」では「そばのサラダ風ガスパチョ」「サヤインゲンの白和え、フォアグラ風味」などが提案、販売された。

(次ページへ続く)

前ページからの続き

また、日本産牛肉のEU向け輸出が2014年6月に解禁となったことを捉え、日本産神戸牛を同レストランと肉売り場で提供した。レストランでは、神戸牛に大根おろしとアンチョビペーストのソースを添えて提供し、日本産牛肉ならではのとろけるような食感を強調したところ、予想を上回る大ヒットとなった。「ラ・ターブル」では、日本展終了後もクリスマスまで週に1度、日本産神戸牛のメニューを提供する予定にしている。

デザートでは、ケーキのモンブランから着想を得た、小豆あんとうずを使ったケーキ「モンブリ(富士山)」が好評で、しばらく売り切れ状態が続いた。また、みその田舎パン、ベーコンとサンショウ入りバゲット、カレーパンなど、日仏の風味を融合したパンも販売され好評を博した。



レストランで提供された神戸牛のメニュー〔食会(Shokun-e)提供〕

＜高級衣服からティッシュまで広範に販売＞

今回の日本展では、「日本のディスカウントストアに代表されるような、雑多で豊富な品ぞろえも、日本のワクワクさせる魅力の1つ」(中村代表)として、日本展では高価格商品だけでなく、多岐にわたる分野・価格帯の商品を扱った。

例えば、ファッション部門のメインとなったブランド「sacai」では、秋冬コレクションの展示に加えて、遊び心に富んだ購入しやすい価格帯の限定商品も用意し、注目を集めた。3ユーロのウエットティッシュ、ポケットがポーチになり収納できるカーディガンやパーカー、かばんメーカー「PORTER」とコラボレーションしたポーチなどだ。

セレクトショップ「BEAMS」のポップアップショップでは、インディゴに近い青色の絵付けを施すことで斬新さが加わった、遠刈田系伝統こけし(小25ユーロ、大35ユーロ、仙台木地製作所との共同制作)が、初日の半日で完売して日本側を驚かせた。

また、会場内のディスプレイにも使用されたカプセル玩具「コップのフチ子」は国内メディアに取り上げられ、約1週間で完売した。ル・ボン・マルシェには、こだわりを持つ観光客が世界中から訪れる。複数のファッションショーが同時開催された「パリ・ファッションウィーク」(9月23日～10月1日)のころには、ファッション業界関係者も日本展に多数来場し、「日本のショーケース」の役割も果たしたという。


(注)ベネッセホールディングスと福武財団が、瀬戸内海の直島、豊島、犬島で運営するアート活動の総称。

(出所:ジェトロ通商弘報2014年11月27日 546197e2cec98「パリの老舗百貨店で大規模日本展―神戸牛やこけしが売れ行き好調―(フランス)」)

！！外貨両替は弊庫へ 米ドルは全店で、17通貨は本店で取扱中！！

次のセミナー等をご案内させていただきました。

セミナー等名称	開催地	主催者
AFTA(ASEAN自由貿易地域)セミナー	名古屋	日本アセアンセンター
インドネシア進出セミナー	名古屋	ORC INDONESIA, STAR BUSINESS PARTNERS
海外投資セミナー「わが国製造企業の海外事業展開」	名古屋	国際協力銀行
食品輸出商談会	名古屋	ジェトロ名古屋

心と心のおつきあい
 **豊田信用金庫**
 国際業務部

〒471-8601
 愛知県豊田市元城町1-48
 電話 0565-36-1381
 FAX 0565-36-1213
 URL <http://www.toyoshin.co.jp>